

Fry to Fly Projectについて

FRY to FLY Project事務局
日揮ホールディングス



Fry to Fly Projectとは

使用済みの油を原料とする**SAF**で飛行機が飛ぶ世界の実現を目指すプロジェクト。日揮ホールディングスが提唱、事務局を務める。

2023年よりスタートし、現時点で252の企業、自治体、団体が参加。

参加者それぞれが主体となって様々な活動に取り組んでいる。

Fry to Fly
Project
ウェブサイト



SAF(Sustainable Aviation Fuel)とは？

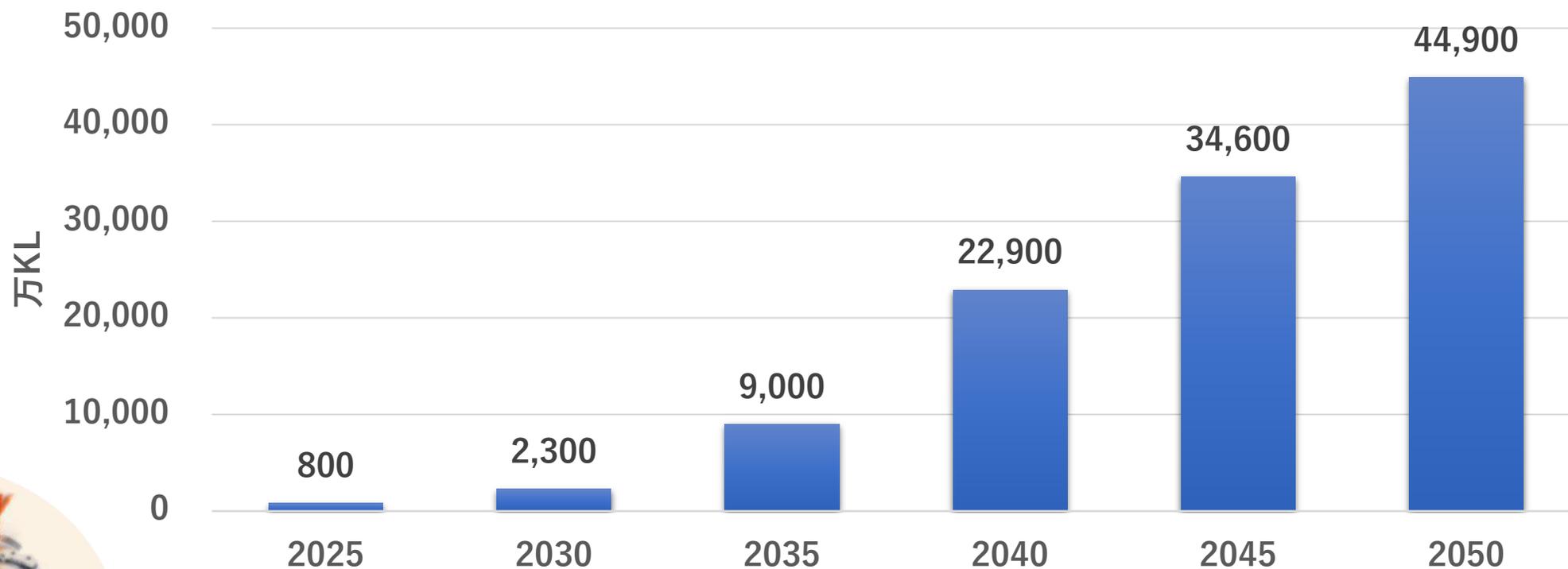
- 化石燃料以外を原料とする
持続可能な航空燃料
- 様々な原料・製造技術が存在
- 従来の航空燃料と比べてライフサイクル
でCO₂排出量を大幅に削減
- 既存のインフラ（航空機、
貯蔵・給油設備など）が使用可能
- 中大型の航空機にはSAFが不可欠



SAFの原料の例



- SAFは航空セクターの脱炭素で中心的役割。世界各国で需要が高まっている
- EUは2025年よりSAFの供給義務化がスタート
- 日本政府も2030年に国内SAF10%供給の目標を設定
- SAFが供給されること空港であることは空港にとっての優位性となる



出典：IATA Net zero 2050 sustainable aviation fuelsを元に弊社作成



原料は100%
廃食用油

収集



SAFFAIRE SKY
ENERGYが2025年
より製造を開始

製造



国内の国際空港（関
西・中部・羽田・成
田）へと供給

輸送



SAF年産約 **3万KL**
国内初の大規模生産

利用



SAFFAIRE
SKY ENERGY

合同会社サファイア スカイ エナジー社について

- 日揮ホールディングス(株)、コスモ石油(株)、(株)レポインターナショナル共同出資にて設立されたSAF製造事業会社
- 本事業はNEDOの助成事業「国産廃食用油を原料とするSAF製造サプライチェーンモデルの構築」として採択・開発されたもの





NEAT SAFタンク

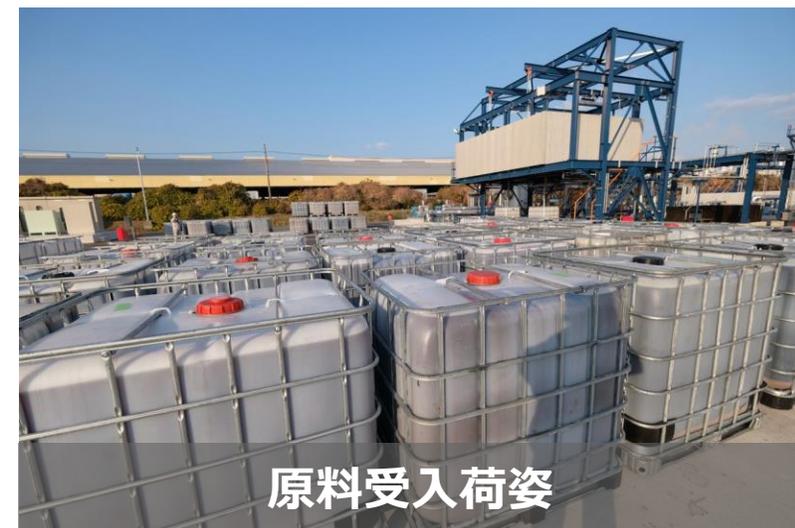
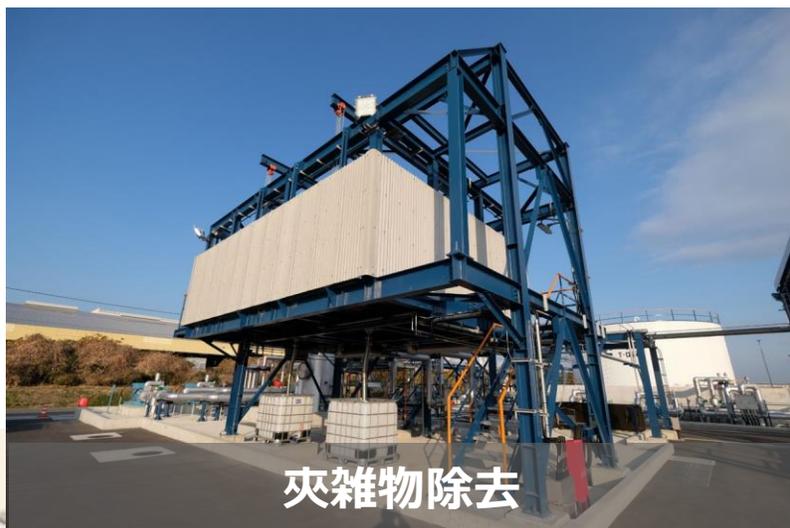


混合SAFタンク



SAF製造設備

原料受入設備

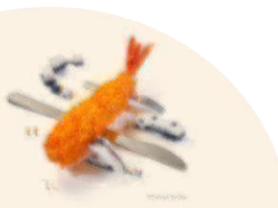


国産SAFの供給開始

□ 2025年5月以降、**関西国際空港**・**中部国際空港**・**羽田空港**でそれぞれの空港で国産SAF供給を開始



- (左上) 関西国際空港での供給開始イベント
- (右上) 羽田空港での供給開始イベント
- (右下) 中部国際空港での供給開始イベント



東京都による廃食用油の回収促進に向けた施策

今年9月開催の世界陸上には、世界中からトップアスリートが飛行機を利用して訪れる。そこで、SAFの普及に向け、家庭の油を回収するキャンペーンを、東京2025世界陸上財団や区市町村と連携して展開

「東京2025世界陸上与サステナブルな未来へ 家庭の油で飛行機を飛ばそう」というキャッチコピーのもと、大会アスリートアンバサダーの北口榛花選手や大会マスコット「りくワン」を起用したPRなどで回収を促進することで、さらなるSAFの認知度向上や都民の行動変容につなげていくよう取り組んでいる

キャンペーン概要

1 期間

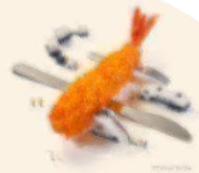
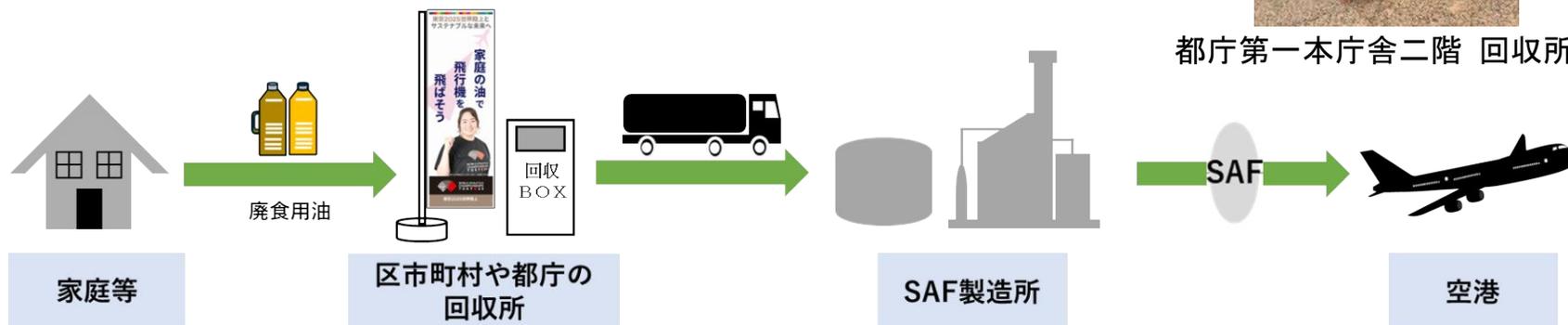
令和7年5月2日（金曜日）から10月31日（金曜日）

2 回収所

都庁舎や区市町村の施設等、約80か所に設置



都庁第一本庁舎二階 回収所



- 航空分野の脱炭素化が急務の中、航空会社にとってSAF給油の可否は就航地を選択する上で重要な要素であり、羽田空港にSAFを安定的に供給できなければ、東京の国際競争力向上に支障をきたす恐れ
- 羽田空港に良質なSAFを安定的に供給していくためには、国産SAFの供給拡大・利用促進が重要であることから、国産SAFを製造し、羽田空港にて航空会社へ供給する事業者を支援

事業概要

1 支援対象

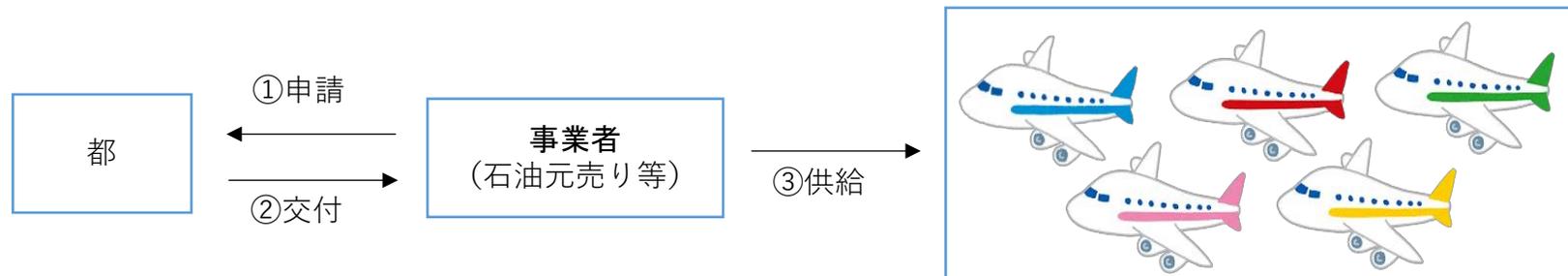
羽田空港にて航空会社へ国産SAFを供給する都内企業

2 補助要件

- (1) ASTM Internationalが定める「ASTM D7566、D1655」の規格を満たしていること
- (2) GHG削減効果が原則50%以上であり、CORSA認証等の第三者認証を取得していること

3 補助内容

- (1) 補助単価 : 100円/ℓ
- (2) 補助数量 : 2,500,000ℓ

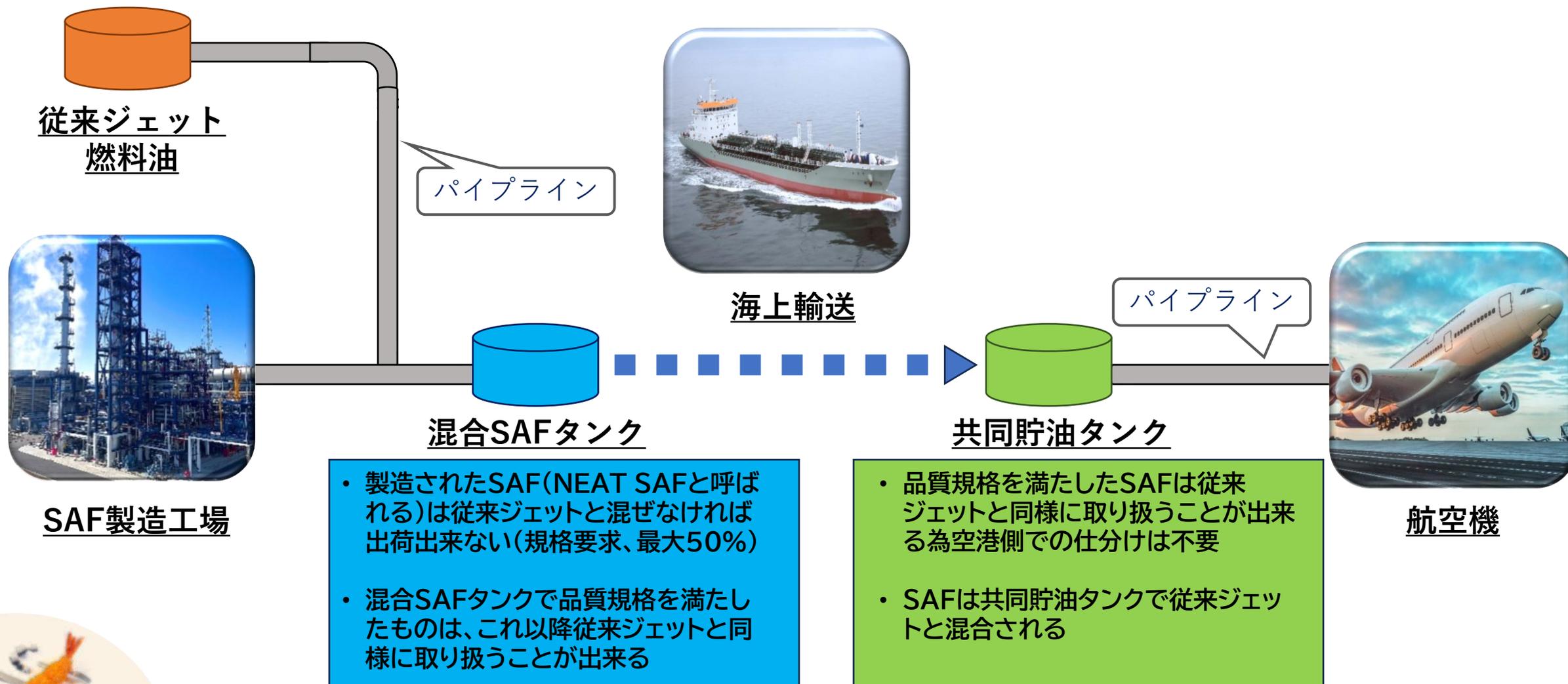


国産SAF製造以降のサプライチェーンについて

製油所

輸送

空港



以降、ご参考資料



Fry to Fly Project 取り組み事例

大規模マンションでの回収および住民向け周知イベントの実施
(野村不動産株式会社)



自治体イベントでの廃食用油回収・周知 (各自治体)



ガソリンスタンドでの廃食用油回収
(コスモ石油株式会社)



商業施設および施設イベントでの廃食用油回収・周知
(三菱地所株式会社・株式会社大丸松坂屋百貨店)



Fry to Fly Project 取り組み事例

学校での出前授業（合同会社SAFFAIRE SKY ENERGY）



電車内および駅コンコースでの周知（東京地下鉄株式会社）



イベントの実施および機内誌 SNSなどの媒体による周知
（日本航空株式会社、全日本空輸株式会社、スカイマーク株式会社）



イオンモールでの家庭系廃食用油回収
（イオンモール株式会社、関西エアポート株式会社）

